

平成 29 (2017) 年 1 月 20 日
在ベネズエラ日本国大使館
附属カラカス日本人学校発行

目指す児童生徒像 よく考える子 思いやりのある子 進んでやりぬく子 強くたくましい子 日本もベネズエラもよく知る子

私たちの学校のあるアティージョは、とってもいい所です！ 人も自然もとっても優しいです！
郵便局でも農園でも、とっても親切に、丁寧に子どもたちに話してくださいました！



■ 全校でアティージョ探検！ 郵便局と農園に行ってきました！ ■

1月16日(月)の3～4校時に、全校でアティージョ市内にある郵便局と農園の見学に行ってきました。社会科や生活科の授業の中で考えてきた質問をしたり、働いている方からお話を聞いたりしました。郵便局では切手をいただいたり、農園では家庭科の調理実習で使う野菜を買ったりもしました。

大変だ！⇒ 昨年の大雨で、学校入口付近の法面が大きく崩落しました。早速ビニールで応急修理しました。4月には本格的な修理に入る予定です。



カラカス日本人学校をもっともっと知り、もっともっと好きになるために… (その146)

カラカス日本人学校はみんなの大切な、大切な宝物です！ NO. 41

来年 2018 年、ベネズエラの日系人会は、移住 90 周年を迎えます。学校の図書室には、今から9年前に発刊された「ベネズエラと共に80年」という日系人協会移住 80 周年記念誌があります。今回からは、この記念誌の中に記されている日本人学校の歴史に関する記述を紹介していきます。■日本語学校の歴史■ 在留邦人の努力により、カラカスに現在のカラカス日本人学校の母体となった補習学校が 1968 年に設立された。アルタミラ校、コレヒオ・ドン・ボスコ校、シONTAL校と移り変わり、1975 年バージェ・フレスコに全日制カラカス日本人学校が設立され、それと同時に補習学校もカラカス日本人学校全日制に切り換えられるはずであった。しかし、諸般の事情からこの切り換えが出来ず、日本政府の援助も打ち切られたまま、私塾的な補習学校としてシONTAL校を借り、土曜日の補習を続けた。1977 年シONTAL校の校舎を借りることが出来なくなり、指導教師等の採用も難しく、

3月末日をもって閉校することになった。全日制的児童生徒は、日本より派遣された教師陣と現地の有資格者により日本の教育を受けていたが、日本の教育を受ける機会を失ってしまった補習学校の生徒については、同じ日本人でありながら日本語も使えず、日本の本も読めないというのはあまりにも可哀相ではないか、と理事会、大使館、校長で討議が重ねられた。結果、関係各位の深い理解のもと、カラカス日本人学校の補習科として 1977 年 5 月 1 日に新設された。現在この補習科は、お母さん方の努力によりカラカス日本語教室として運営されている。(写真：80周年記念誌の表紙) つづく

ベネズエラと共に80年
TRAYECTORIA DE LOS 80 AÑOS DE
LA COLONIA JAPONESA
1928~2008

ベネズエラ日系人協会移住80周年記念編集委員会
Comité Editor de la Federación Nikkei de Venezuela